国内マーケット

ロータス同友会関連会社

レンタカー事業拡充

24時間貸し出し／返却可能

年度内 加盟店480社目指す

全日本ロータス同友会の関連会社でオートリースなどを手がけるロートピア（田邉寿彦社長、東京都港区）は、レンタカー事業「楽ノリレンタカー」を拡充する。新たにカーシェアリングの手法を見据えた「楽ノリanytime」を導入し、24時間貸し出し及び返却可能なサービスを展開する。利用者の利便性を高めることで、稼働件数の引き上げや加盟店舗数の拡大に結び付ける。2020年度に車両配備社数を現状から100社増の480社、保有台数を800台増の3800台に拡大する目標を掲げる。

楽ノリレンタカー事業は、ロータスが従来展開していた取り組みを発展する形で実施している。自動車の保有から使用への流れが加速し、カーシェアビジネスに注目が集まる中で利用者数が増えてきたことから、19年度にロータスからロートピアに運営を移管し、利用促進施策を検討してきた。

楽ノリanytimeはその方策の1つで、カードをキーボックスにかざすだけでカギを取り出せる仕組みを活用する。その間の稼働時間を利用時間に算定。これにより、貸し出しや返却に事業者が立ち会う必要がなくなる。ユーザーは時間を問わず、自らの希望に沿って車両を利用できる。

全日本ロータス同友会の同友各社の社用車、代車などを用いてサービスを展開する。このため、車両貸し出しのシステムを簡素化することで、同友にマッチした手法を取り入れた。今後サービスを拡充するのと合わせ、新たなモビリティビジネスの方向性を模索する。

田邉氏が社長に昇格

全日本ロータス同友会の関連会社のロートピアは19日、専務取締役の田邉寿彦氏が社長に昇格する役員人事を行った。前社長の中原功氏は非常勤相談役に就いた。

田邉　寿彦（たなべ・としひこ）氏　1985年広島大学法学部卒。あいおいニッセイ同和損害保険で千葉支店長、東京企業営業第4部長、理事東京西支店長を歴任。2019年4月ロートピア専務取締役、20年6月社長。1962年9月生まれの57歳。広島県福山市出身。

副理事長に日産の田川氏が就任

日本自動車教育振興財団評議員会／理事会

日本自動車教育振興財団（内山田竹志理事長）は、2020年度の「定時評議員会」と「第22回理事会」を書面による決議で開催し、副理事長に日産自動車の田川丈二専務執行役員が就任した。また任期満了に伴う評議員の改選では、3人を新任した。

6月8日までに全評議員の同意を書面で集め、19年度事業報告、決算報告などを承認した。評議員の改選は4年に1度行うもので、21人中18人を再任。日本自動車査定協会一色良太業務執行役員を新たに和損害保険の新[illegible]

20年度事業計[illegible]かれた「第21回[illegible]認した。重点[illegible]て、ウェブサイ[illegible]動画による情報[illegible]い、高等学校[illegible]支援を充実させ[illegible]盛り込んだ。

オンライン商談スタート

来月2日から 非接触の環境充実

VCJ

ボルボ・カー・ジャパン（VCJ、東京都港区）は22日、ビデオ通話システムを活用した非接触型の販売手法を用意する動きが加速している。VCJでもすでに試乗や車検点検入庫の予約受付をウェブサイトで実施してきたが、オンライン活用をさらに強化することで、幅広い顧客のニーズに応えていく考えだ。

選択できるようにする。

VCJのウェブサイトに「ボルボ・デジタルラウンの説明を行うほか、内外装やシート生地などショールームに用意した説明用の素材も活用して、ユーザーが体感してほしいポイントなどをあらかじめ確認できる動画を用意し、希望に応じて顧客だけで試乗してもらう。

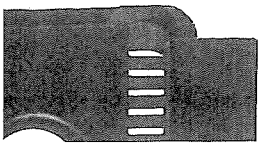
コロナ禍によって生活様式や企業の営業方法などが見直される中、自動車販売でもオンラインを活用した非接触型

バンシェア本格稼動

テイ

領、車内装備の破損などに対する補償を充実させ、万が一の際に備える。車両オーナーには新型コロナウイルス感染症対策マニュアルや次亜塩素酸水溶液も無償提供する。

同社は、車中泊スポットのシェアサービス「カーステイ」を2019年1月に開始。今年4月からはバンシェアの試験稼働を開始するとと



ドライブレ[illegible]

特定販路[illegible]

JVC

JVCケン[illegible]ウッドブラン[illegible]向け前後2カ[illegible]レコーダー「[illegible]50DC」を[illegible]する。企業の[illegible]補助に役立てる[illegible]